

(別紙様式例2)

放課後等デイサービス自己評価表【事業者用】

この評価表は、児童発達支援センター、児童発達支援事業所又は放課後等デイサービス事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか		○		バリアフリーについては、西部の一室が一段上がってフローリングになっているので、改善していきたい。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	○			
業務 改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			全職員会、毎月のパレット会議、毎月の職員会、臨時報告会など職員が参画する複数のサイクルで実地。
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			四国中央市障害児等審議会で運営審議し、業務改善に努めている。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部講師による研修開催や専門研修会等への参加のほか、自己研鑽のための図書を整備。
適切 な 支 援 の 提 供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	2	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	○			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	○				
	5	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
	7	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				
	8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、本日の予定と内容を確認し、終了後には、ヒヤリハットを含めて、一人一人の児童の様子を共有したり、改善するところは早めに対処している。	
	9	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			療育後にヒヤリハットを含めて、児童の様子や環境面や職員のかかわり方などを職員全員で共有している。	
	10	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日の日誌や個人記録などを明確に記録し、適切な表現を心がけている。	
	11	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			計画が適切であるかを児発管が見極めて見直しをしている。	
	関係機関や保護者との連携	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
		2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか		○		現在のところ、関係機関との情報共有や連絡調整を行っていない。今後、医療との連携を検討していきたい。
3		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		現在のところ、主治医や協力医療機関等の連絡体制が整っていないので、検討していきたい。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	○			全員ではないが、保護者依頼により学校に出向いて、支援会議に参加して、学校での様子や放課後の姿などを話し合っ て、情報共有している。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか		○		相談支援専門員を通じて、支援内容が引き継がれるように情報提供をしている。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	一人一人の発達障がいの特性が違うので交流については、慎重にしたい。
	8	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			子育て支援の行事参入やSNSを通して情報を発信している。また、ボランティア受入要領を定めている。
	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約書に基づいて、保護者に説明をして、療育を始めるようにしている。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	○			
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		現在、ペアレントトレーニングは行っていない。必要を感じているので、今後検討していきたい。
保護者への説明責任等	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			職員に悩みを相談しようと思える保護者との関係が築けるように心がけているが、まだ十分でない。大事にかかわっていききたい。
	6	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			現在、父母の会や保護者会はない。保護者研修会を開催しながら、保護者同士が顔を合わせる機会をもちたいと思う。
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情を受けて、保護者の方の思いを十分に聞き、適切な対応を心がけている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
保護者への説明責任等	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	9	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			必要に応じてその都度、フェイスブックにより情報を発信している。
	10	個人情報に十分注意しているか	○			
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		小集団の保護者には、周知しているが、個別療育の保護者には、周知できていない。今後周知していく。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			ガイドライン等を読み、意識統一をして療育にあたっている。
	4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			自傷行為が起こった場合は、ヘッドギアをつけることで身を守るために、保護者から、承諾書をいただいている。また、計画に記載している。
	5	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書を消防署にも保管してもらい、救急の場合は、すぐに対応できるようにしている。
	6	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎日療育後には、ヒヤリハットについての確認をしている。ヒヤリハット報告書は、事業所内だけでなく、課内で共有している。